

インスリンを自動調整する インスリンポンプ療法 エーアイディー (AID療法)



1型糖尿病をもつあなたに
もっと楽に もっと私らしい毎日を

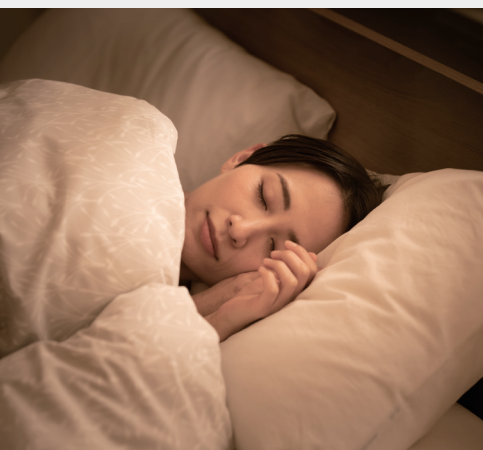


毎日がAIDとともに、もっと楽に もっと私らしく

「また今度」が「さあ、行こう!」に 変わる毎日へ

血糖値を気にして、好きなものを我慢していませんか？

外食先で、インスリン注射を打つタイミングを気にして、
食事のたびに気を使っているませんか？好きなものを好きに食べたい。



安心した眠りと快適な朝の目覚めに

夜ぐっすり眠れていますか？

夜間や明け方の血糖値、夜中の低血糖が心配で、ぐっすり眠れない日は
ありませんか？血糖値を気にせず ゆっくり眠りたい。気持ちよい目覚めと
ともに、毎日をスタートしたい。

これまでの経験と新しい挑戦が、 人生をもっと輝かせる

仕事でもっともっと挑戦したくありませんか？

血糖値の急激な変化による集中力の低下や体調不良が、
仕事に影響することはありますか？職場の理解が得られないことも。



注射、注射の毎日から、 もっと楽により良い血糖管理を

血糖値を見ながら、インスリン注射を打つのは
面倒ではないですか？

毎日、注射を頑張っているけれど、これ以上良くできない。

毎日、何度も針を刺す生活から解放されたい。



好きなことに夢中になれる、 毎日をもっと豊かにする

趣味の時間を有意義に過ごしていますか？

低血糖が起こり集中できないことはないですか？

スポーツやショッピングを思いっきり楽しみたい。

第3の人生を、 挑戦と自由に満ちたステージへ

これからの人生、合併症の出現を不安に
思うことはないですか？

これからの血糖管理に不安はありませんか？

第3の人生を私らしい、充実した毎日にしたい。



インスリンを自動調整するAID療法が、あなたの

AID療法とは？

自動でインスリンを調整するインスリンポンプ療法のことを「AID療法」といいます。センサで血糖変動を5分ごとに測定し、その測定値に連動してポンプがインスリン（超速効型インスリン）量を自動計算して注入します。

ポンプやセンサはどのように使うの？

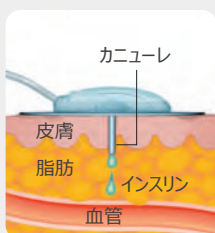
1 小型のインスリンポンプと血糖変動を測定するセンサを24時間、身につけて使用します。

2 あなたがすることは主に3つです。※

1. インスリンポンプのチューブを2～3日に1度交換する
2. センサを7日に1度交換する
3. 食事前に糖質量をポンプに入力しインスリンを打つ

2～3日に1度、 チューブを交換します

6mm程度の柔らかいカニューレからインスリンが少しずつ注入されます。



ボース	07:13
120 mg/dL	
糖質	58g 5.3U
調整	0.0U
ボース	5.3U
ボース注入	

117gで、手のひらサイズ

毎日つけているので、ほとんどの場合つけていることがあまり気にならなくなります。

7日に1度、 センサの交換をします

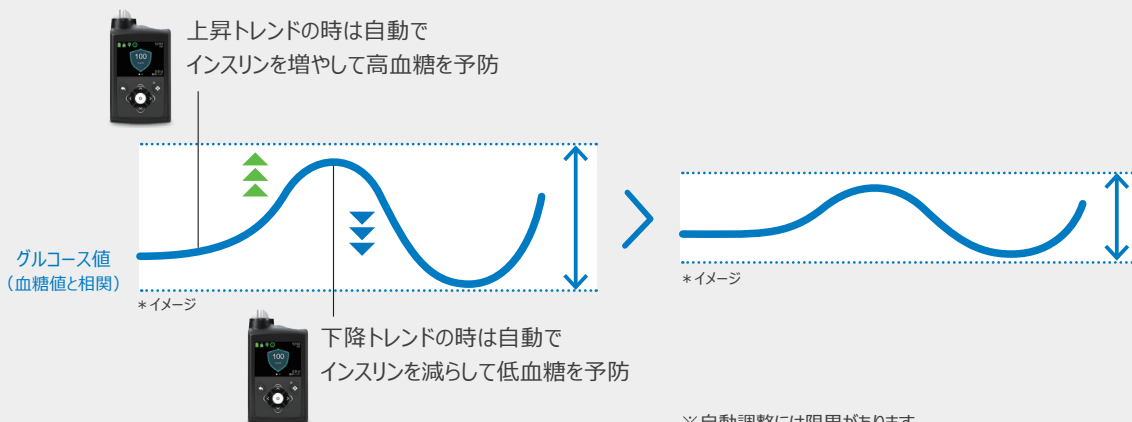
センサはお腹まわりや、腕に装着します。自動注入する場合、定期的な血糖測定は必要ありません。

※詳しい使用方法などについて主治医とご相談の上、使用をご検討ください。

毎日の血糖管理をサポートします

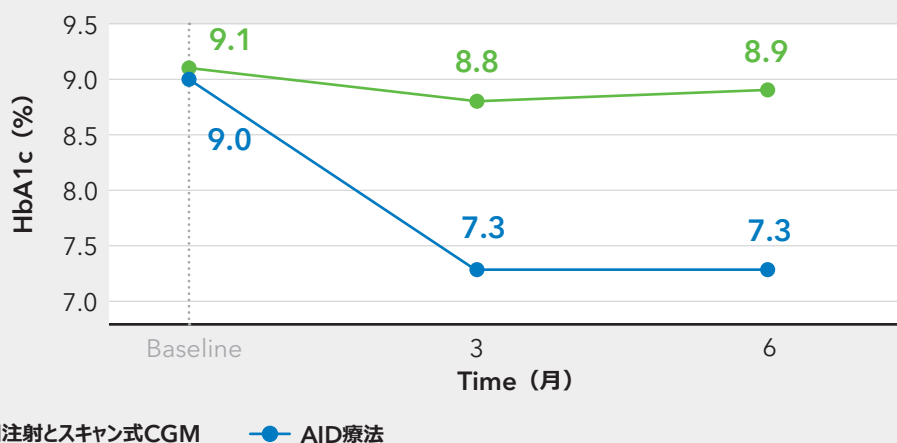
3

あなたに代わり、センサとポンプがインスリン量を計算し自動で注入します。あらかじめ設定した目標値に対し、血糖値が上昇すればインスリンを増やし、下がればインスリンを減らします。※



臨床データ (頻回注射からAID療法への変更)

頻回注射療法との比較で、AID療法では6か月後にHbA1cが1.6%低くなっています。



Choudhary P, et al. Lancet Diabetes Endocrinol. 2022; 10(10): 720-731.

使用者の声より AID療法に期待できること



血糖値が良くなった！

- 発症以来初めてHbA1cが6%台になりました。
- 低血糖がなくなったので気持ちは楽になりました。
- 日常生活リズムの変動にかかわらずTIRの値が向上しました。



ぐっすり眠れるようになった！

- 夜中の高血糖と低血糖の心配がなくなり、ぐっすり眠れるようになりました。
- 朝の高血糖がなくなり朝から気分が落ち込むことがなくなりました。



食事が楽しくなった！

- 外食で人の目を気にせずインスリンを注入しやすいです。
- ずっと我慢してきたアイスが食べられるようになりました。
- 食べ歩きなどへの抵抗が減りました。



打ち忘れても安心！

- 打ち忘れによる血糖値の上昇が避けられて体が楽です。
- 打ち忘れの時も自動で入れてくれるので助かっています。



外出が楽しくなった！

- テニスを何時間でもできるようにになりました。
- 友人と旅行を思い切り楽しむことができるようになりました。
- 日常生活でストレスが減って気持ちも前向きになりました。

使用者の声より AID療法に懸念されること



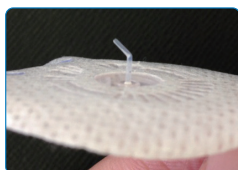
コスト負担が大きい

AID療法は、3割負担で毎月30,000円程度の医療費がかかります。コスト負担は大きいですが、治療や生活の改善により、国内で7,000名以上の方がAID療法を使用しており年々増加しています。



テープのかぶれ

カニューレやセンサはテープで固定するため、かぶれのある人がいます。装着部位をローテーションすることや皮膚のケアをすることが大切です。



カニューレのつまり

超速効型インスリンをポンプから注入するので、カニューレがつまると高血糖を起こします。装着部位のローテーションや適切な装着手技が重要です。体調に異変があった際や思わぬ高血糖があった場合はカニューレを交換し対処します。

Q1 AID療法が自分にあうか不安です。

使用者の声を聞いてみましょう。また、一度チャレンジしてみることが一番です。自分にあわなければ、もとの治療に戻すこともできます。



糖尿病ネットワーク
インスリンポンプ・CGM情報ファイル
「先輩患者さんに聞いてみよう」

Q2 AID療法の導入は入院しないとできませんか？

外来で導入できる場合もありますので、詳しくはかかりつけの医療機関へご相談ください。

Q3 ポンプの携帯方法はどのようにしますか？

ポンプにクリップがつけられるのでベルトに固定したり、ズボンのポケットに入れたり、専用のポーチで携帯することもできます。

Q4 お風呂やプールの際は、どうしたらいいですか？

センサはつけたまま、ポンプは接続部を簡単に取り外せるので、カニキュレ側に保護キャップがつけられます。

Q5 血糖自己測定は必要ありませんか？

AID療法では定期的な血糖自己測定が必要ない機種があります。ただし測定値と自覚症状が異なるときなど血糖測定が必要な場合がありますので、詳しい使用方法是、主治医にご相談ください。

Q6 食事で糖質量を見積もることが必要ですよ？

食事の際は、糖質量をポンプに入力してインスリンを注入する必要があるため、見積もり（カーボカウント）のトレーニングが必要です。AID療方は、大きなずれでなければ見積もりのずれを自動調整でカバーしてくれます。

Q7 AID療法はどの医療機関で取り扱っていますか？

AID療法などインスリンポンプ療法を採用している医療機関は、こちらのサイトで検索できます。



インスリンポンプ・CGM情報ファイル
インスリンポンプ・CGM 取り扱い医療機関リスト

AID療法が可能な インスリンポンプの実物大

チューブは60cmや110cmのタイプから選びます。チューブが衣服から出ないように工夫してポンプを携帯します。

単3乾電池で動きます。2〜3週間に1度、自宅で電池交換します。

実物大

実物大

センサにトランスミッタ（ポンプとの無線通信機）を取りつけて使います。トランスミッタは充電式です。

実物大

超速効型インスリンを1種類使用し、すい臓と同じように24時間微量注入します。

対応するスマホがあれば、センサやポンプの情報を見ることができます。またその情報を、離れた家族のスマホに連携することもできます。

対応するiPhoneから、Apple Watchに連携することもできます。

AID療法をご検討中の方は、電話で相談できます！

コール ミニ コール

0120-56-32-56

24時間365日
通話料無料



インスリンポンプ.jp

一人ひとりの生活に合わせた治療を実現するための情報サイトです。



インスリンポンプ・CGM情報ファイル

創新社が運営する

インスリンポンプの情報サイトです。

【製造販売元】日本メドトロニック株式会社
販売名：メドトロニック ミニメド 700シリーズ 医療機器承認番号：30300BZX00256000
販売名：メドトロニック ガーディアンコネクト 医療機器承認番号：22900BZX00321000

 minimed

ミニメドジャパン合同会社

© 2026 Medtronic MiniMed, Inc. MiniMed、ミニメドおよびMiniMedロゴマークは、Medtronic MiniMed, Inc.の商標です。TMを付記した商標は、Medtronic MiniMed, Inc.の商標です。TM*を付記した商標は、各社の商標です。iPhone、Apple Watchは、Apple Inc.の商標です。

DIAB2601-04 rev.2 MM